

～～第7717回～～

甲斐駒ヶ岳

～H27. 7. 18-19～

甲斐駒ヶ岳は花崗岩の白い山だった。ワゴン車2台は男性4名女性6名を乗せ袋井JAを5:30に発車した。東名も東海環状も特に渋滞はなく車は順調に進む。伊那ICでトイレ休憩をすませ仙流荘バス乗り場をめざす。駐車場はまだ余裕があり車はバス乗り場のすぐ横におけた。雨の中、北沢峠行きのバスに乗り込む。バスは南アルプス林道をゆっくり進み運転手は雨で見えていない山などをガイドしてくれる。1時間程すると北沢峠に着く。外で昼食する予定であったが雨の為そそくさともれび山荘に入る。二階一番奥の12人程は入れる入口に「関係者以外入室禁止」の貼紙のある部屋だった。トイレには遠かったが静かな部屋であった。雨が止まない為散策は1時間ほどであとは山荘でのんびり過ごした。翌日は3時に起きると満天の星である。前日作ってくれたお弁当をそれぞれ食べ4:30に出発する。お弁当なので朝食時の混雑がなくスムーズに準備ができた。まだ薄暗い道を少し進むと色とりどりのテントが沢山張られている横を通る。長衛小屋のテント場だ。北沢橋を渡ると暫く沢づたいにのんびり歩く。すると突然開けた岩場が出現する。そして出発して1時間もすると仙水峠に着く。ここから駒津峰まで一気に登る。最初は森林帯だったがだんだん高さが低くなりハイマツとなる頃には息が切れてくる。やっと駒津峰につくと甲斐駒、仙丈、北岳が良く見える。少し休憩し尾根沿いを下り六方石を過ぎると直登コースとトラバースコースに分かれる。個人的には直登コースの岩登りをしたかったが巻いて行くことになり少し残念だった。白い小石のザレ場を登っていく。山頂は見えているのだがなかなか着かない。空気が薄くなったのかヒューヒュー言いながらやっと祠のある山頂に到着した。頂上は広く既に沢山の人がいる。天気がいいので南・中央・北アルプス360度の大パノラマが楽しめる。もっとゆっくりしたいが1時のバスに乗りたいたのでそそくさと下山を開始する。ザレ場をすべらないよう細心の注意を払いながら下っていく。六方石を通り駒津峰まで進むと双児山のコースをとる。展望のきくハイマツの尾根を下る。前方に双児山の登りが見えているので下るのがおしい。下りきると今回最後の登りだ。双児山で後ろを振り返り甲斐駒の姿を目に焼き付けた。少し進むと雨がポツポツし始めたので皆カップを着ることになる。雨は本降りとなりすべりやすくなっている木の根っこに注意を払いながらひたすら下る。1時間程でこもれび山荘の横に到着。既にバス乗り場はツアー客等でごった返していた。仙流荘バス乗り場の駐車場は満車で河原や脇道にまで車がおかれている。仙流荘にて入浴と昼食を済ませ帰路につく。三連休の為か高速道ならびにSAは大混雑だった。途中洪水のような雨に降られながらも無事JAに20時過ぎ到着した。

参加者：10名（袋井9、静岡北1）

天候：18日曇りのち雨 19日晴れのち雨

地図：甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳

コースタイム：袋井JA530＝鞍ヶ池PA650＝駒ヶ岳SA830＝伊那IC900＝仙流荘バス乗り場

940-1005＝北沢峠こもれび山荘 1120-435…仙水小屋 500…仙水峠 550…駒津峰 720…山頂
900-20…駒津峰 950…双児山 1045…北沢峠 1250-1315＝仙流荘 1415-1545＝伊那 SA1740＝袋
井 JA2010

記録：袋井支部 K.N



アサヨ峰を経由してから甲斐駒ヶ岳の頂上に向かう登山道を1列に進む